



Cisco DNA Center プラットフォームの展開

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco DNA Center プラットフォーム のインストール \(1 ページ\)](#)
- [統合設定の設定 \(2 ページ\)](#)
- [API の前提条件 \(3 ページ\)](#)
- [プラットフォーム向けロールベース アクセス コントロールのサポート \(4 ページ\)](#)

概要

Cisco DNA Center プラットフォームを展開するには、次の手順を実行します。

1. Cisco DNA Center リリース 2.3.3 をインストールします。詳細については、[Cisco DNA Center プラットフォーム のインストール \(1 ページ\)](#) を参照してください。
2. 統合の設定を行います。詳細については、[統合設定の設定 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco DNA Center プラットフォームの展開後、次のタスクを実行します。

- API の前提条件を確認します。詳細については、[API の前提条件 \(3 ページ\)](#) を参照してください。
- GUI の [Overview] に進んで簡単な機能説明を確認し、Cisco DNA Center プラットフォームの理解を深めてください。詳細については、[プラットフォームの概要について](#) を参照してください。
- GUI の [Bundles] に進み、ネットワークに必要なバンドルの有効化、設定、アクティベートを行います。詳細については、[バンドル機能](#) を参照してください。

Cisco DNA Center プラットフォーム のインストール

このリリースでは、Cisco DNA Center の新規インストールを実行すると、Cisco DNA Center プラットフォームもインストールされます。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のインス

ツール手順は不要になりました。Cisco DNA Center のインストール方法については、[Cisco DNA Center 設置ガイド](#)を参照してください。

インストール後、GUI の [Navigation] slide-in pane に [Platform] オプションが表示されます。
[Platform] タブをクリックし、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスします。
SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。
SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。さらに、SUPER-ADMIN-ROLE のユーザーは、さまざまなプラットフォーム機能（API、バンドル、イベント、およびレポート）に対する読み取り、書き込み、または拒否権限を持つカスタムロールを作成できます。この機能にアクセスするには、メニューアイコン（☰）をクリックして、[System]>[Users & Roles]>[Role Based Action Access Control] の順に選択します。

NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。たとえば、それらの2つのロールでは、次のアクションは許可されません。

- レポートの生成
- イベントの登録
- イベント設定の構成
- バンドルの有効化と設定
- ユーザーとロールの設定

統合設定の設定

ファイアウォールなどのルールが、Cisco DNA Center と、Cisco DNA Center プラットフォームに到達する必要があるサードパーティ製アプリケーションの間に存在する場合は、[Integration Settings] を設定する必要があります。Cisco DNA Center の IP アドレスが、インターネットや外部ネットワークに接続する別の IP アドレスに内部的にマッピングされる場合には、このような事例が発生します。



重要 Cisco DNA Center のバックアップおよび復元後、[Integration Settings] ページにアクセスし、次の手順を使用して [Callback URL Host Name] または [IP Address] を必要に応じて更新する必要があります。

ステップ 1 メニューアイコン（☰）をクリックして、[System] > [Settings] > [System Configuration] > [Integration Settings] の順に選択します。

ステップ 2 [Callback URL Host Name]、または Cisco DNA Center プラットフォーム と通信するときにサードパーティ製アプリケーションが接続する必要がある [IP Address] を入力します。

(注) [Callback URL Host Name] または [IP Address] は、Cisco DNA Center に内部的にマッピングされている外部向けホスト名または IP アドレスです。3 ノードクラスタセットアップの VIP アドレスを設定します。

ステップ 3 [Apply] をクリックします。

次のタスク

Cisco DNA Center プラットフォームの API の前提条件を確認します。

API の前提条件

Cisco DNA Center API および Cisco DNA Center プラットフォームを使用するためには、次の API の前提条件を満たす必要があります。

サポートされているプログラミング言語

Cisco DNA Center プラットフォームで生成されるコードプレビューを使用するには、サポートされているプログラミング言語を使用し、生成されたコードを使用するために必要なその他の言語固有のタスクを実行する必要があります。

たとえば、Cisco DNA Center プラットフォームによって生成された Python スクリプトを使用するには、要求ライブラリをインストールする必要があります。次の CLI コマンドを使用して、pip (Pip Installs Packages) をインストールすることができます。

```
pip install requests
```

Cisco DNA Center プラットフォームは、GUI で次の言語のコードプレビューを生成できます。

- シェル
- ノード : **HTTP**
- ノード : **Unirest**
- ノード : **Request**
- **Python**
- **Ruby**
- **javascript**
- **JQuery**
- **PHP**
- **Go**
- **Ansible**

認証

Cisco DNA Center API はトークンベースの認証を使用し、トークンの有効期間は60秒です。認証スクリプト（サポートされている任意のプログラミング言語を使用）を使用してAPIにログインする必要があります。たとえば、次の Python スクリプトを実行してログインします。

```
def get_token():
    token = requests.post(
        'https://<cluster IP>/api/system/v1/auth/token',
        auth=HTTPBasicAuth(
            username=<username>,
            password=<password>
        ),
        headers={'content-type': 'application/json'},
        verify=False,
    )
    data = token.json()
    return data['Token']
```

プラットフォーム向けロールベース アクセスコントロールのサポート

Cisco DNA Center プラットフォーム ロールベース アクセスコントロール (RBAC) をサポートしています。これにより、SUPER-ADMIN-ROLE 権限を持つユーザーは、特定のプラットフォーム機能へのユーザーアクセスを許可または制限するカスタムロールを定義できます。

カスタムロールを定義し、定義したロールにユーザーを割り当てるには、次の手順を実行します。



(注) SUPER-ADMIN-ROLE のユーザーは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザーとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUIを使用してアクションを実行できます。NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。たとえば、それらの2つのロールでは、次のアクションは許可されません。


- レポートの生成
- イベントの登録
- イベント設定の構成
- バンドルの有効化と設定
- ユーザーとロールの設定

詳細については、『*Cisco Digital Network Architecture Center Administrator Guide*』の「Manage Users」の章を参照してください。

始める前に

SUPER-ADMIN-ROLE 権限を持つユーザーのみがこの手順を実行することができます。


ステップ 1 カスタムロールを定義します。

- a) メニューアイコン (☰) をクリックして、[System] > [Users and Roles] > [Role Based Access Control] の順に選択します。
- b) [Create New Role]  をクリックします。
[Create a Role] ウィンドウが表示されます。これが RBAC の最初のイテレーションである場合、新しいロールを作成した後に、ユーザーを新しいロールに割り当てるように求められます。
- c) [Let's Do it] をクリックします。
今後この画面をスキップするには、[Don't show this to me again] チェックボックスをオンにします。
[Create a New Role] ウィンドウが表示されます。
- d) ロール名を入力し、[Next] をクリックします。
[Define the Access] ウィンドウにオプションのリストが表示されます。
- e) [Platform] の横にある [>] をクリックして展開します。
次のオプションが表示されます。このオプションを使用して、新しいロールに対して [Deny] (デフォルト)、[Read]、[Write] 権限を設定できます。
 - [APIs] : API を表示および試すことができます。
 - [Bundles] : バンドルと ITSM の統合設定を設定してアクティブ化できます。
 - [Events] : 電子メール、REST API エンドポイント、および SNMP トラップのイベント設定を設定できます。
 - [Reports] : レポートをスケジュール、表示、およびダウンロードできます。
- f) [Next] をクリックします。
[Summary] ウィンドウが表示されます。
- g) サマリーを確認します。サマリーの情報が正しい場合は、[Create Role] をクリックします。誤りがある場合は、[Edit] をクリックして適切な変更を行います。
[Done, Role-Name] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 作成したカスタムロールにユーザーを割り当てるには、[Add Users] をクリックします。

[User Management] > [Internal Users] ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、カスタムロールを既存のユーザーまたは新規ユーザーに割り当てることができます。

- 既存のユーザーにカスタムロールを割り当てるには、次の手順を実行します。
 1. [Internal Users] ウィンドウで、カスタムロールを割り当てるユーザーの横にあるオプションボタンをクリックし、次に [Edit] をクリックします。
[Update Internal User] slide-in paneが表示されます。

2. [Role List] ドロップダウンリストから、カスタムロールを選択し、[Save] をクリックします。
- カスタムロールを新規ユーザーに割り当てるには、次の手順を実行します。
 1.  **Add** をクリックします。
[Create Internal User] slide-in paneが表示されます。
 2. 表示されるフィールドに氏名とユーザー名を入力します。
 3. [Role List] ドロップダウンリストから、新規ユーザーに割り当てるカスタムロールを選択します。
 4. 新しいパスワードを入力し、確認のために再度入力します。
 5. [Save] をクリックします。

ステップ 3 既存のユーザーがログイン中に、管理者がそのユーザーのアクセス権限を変更した場合、新しい権限設定を有効にするには、ユーザーが Cisco DNA Center からログアウトして、ログインし直す必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。